



## 指導ポイント&ヒント

### 22課 あわせて いくら。のこりは いくら。

【内容】10 や 100 を単位とする数の構成に着目した加法・減法

【表現】あわせて いくら。 / のこりは いくら。

【指導ポイント&ヒント】

- ・  $50+70=$  や  $500+40=$  など、10 や 100 を単位とした加法・減法の計算方法を学ぶ単元です。十円硬貨や百円硬貨を使うと分かりやすいので、お金の計算に場面を特定して練習するようにしてあります。
- ・ 原理が分かったら筆算で答えを出させても構いません。原理が分からなくても、筆算で答えが出せる子も少なくないからです。「理屈」が分からないと計算ができないというのは誤解です。私たち大人だって、「0」の意味を正確に説明できる人はほとんどいません。でも、ちゃんと生活場面での計算は支障なくこなしています。
- ・ 第2課の「あわせると～になります。」第5課の「のこりは～になります。」と似た表現なので、その違いが気になる子いるかもしれません（現実にはほとんど気にしませんが）。そこで、「～と」は結果として当然そうなるときに使うんだよ…などと説明しても分かりませんので、「あわせると」と「あわせて」は同じ意味だと説明してしまってもよいでしょう。また、「あわせていくらになりますか。」と言うと長いので「あわせていくら？」と聞いたり「あわせるといくら？」と聞いたりするんだよと補足してもよいかもしれません。そのほか、お金のときは「いくら」を使うけれど、物の時は「あわせていくつ」と言うんだよと付け足してもよいでしょう。ただし、それは尋ねられたら答える程度にしておき、聞かれてもいないのに余計なことを教えると混乱の元ですので注意してください。



22課  
ようごとぶん

Unidad 22  
Palabra y Frase

ようご	Palabra
とりました	Tomó de—

ぶん	Frase
120えんから50えんとりました。	Tomé 50 yenes de los 120 yenes que tenía.



# 22 あわせていくら。のこりはいくら。

1

10を単位とする数の構成に着目した加法

50えんと70えん。あわせていくらですか。



$$\begin{array}{r} 50 + 70 = 120 \\ \hline \end{array}$$

5 + 7 = 12

(1) 70えんと60えん。あわせていくらですか。



$$\begin{array}{r} 70 + 60 = \square\square 0 \\ \hline \end{array}$$

(2) 30えんと80えん。あわせていくらですか。



$$\begin{array}{r} 30 + 80 = \square\square\square \\ \hline \end{array}$$

(3) 50えんと90えん。あわせていくらですか。



$$50 + 90 =$$

2

120えんから50えんとりました。  
のこりはいくらですか。



$$\begin{array}{r} 120 - 50 = 70 \\ \hline \end{array}$$

$$12 - 5 = 7$$

(1) 110えんから40えんとりました。  
のこりはいくらですか。



$$\begin{array}{r} 110 - 40 = \square\square \\ \hline \end{array}$$

(2) 150えんから80えんとりました。  
のこりはいくらですか。



$$150 - 80 =$$

(3) 170えんから90えんとりました。  
のこりはいくらですか。

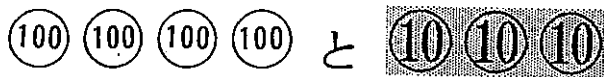


$$170 - 90 =$$

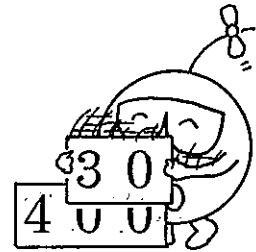
3

100, 10を単位とする数の構成に着目した加法

あわせていくらですか。



$$400 + 30 = 430$$



(1) 

$$500 + 40 =$$

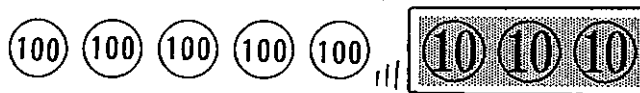
(2) 

$$600 + 50 =$$

4

100, 10を単位とする数の構成に着目した減法

のこりはいくらですか。

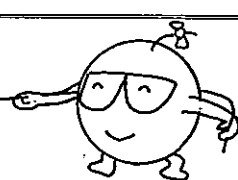


$$530 - 30 = 500$$



(1) 

$$350 - 50 =$$



(2) 

$$460 - 60 =$$

